

71 ウミスズメ

(チドリ目)

Synthliboramphus antiquus

兵庫県ランク: C

繁殖個体群:無 越冬個体群:C 通過個体群:C

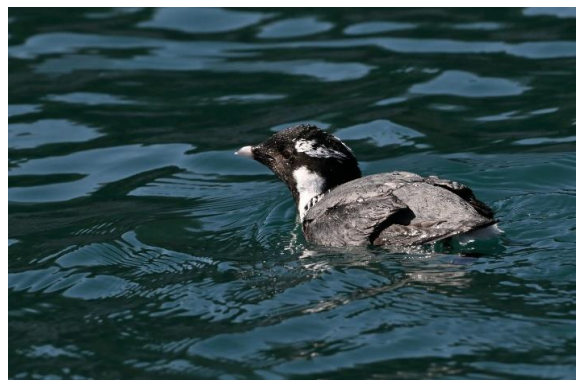
環境省ランク: CR

種の概要

カムチャツカ、オホーツク海、サハリン、千島列島、日本海、アリューシャン列島、アラスカ湾、カナダ南西部の沿岸と島嶼などで繁殖し、繁殖後一部は南方海域に渡る。日本では北海道周辺の島嶼で繁殖し、繁殖後は主に本州、四国、九州周辺の海域で越冬するが、繁殖地周辺にも生息する。普段は沖合いの海上に生息するが、厳冬期には内湾や港などにも飛来する。潜水して魚類や甲殻類を捕食する。

国内分布

北海道、南千島、友知島、ハボマイモシリ島、礼文島、利尻島、焼尻島、天売島、本州、三貫島、粟島、佐渡、舢倉島、隠岐、竹島、見島、四国、九州、対馬、壱岐、五島列島、草垣群島、屋久島、伊豆諸島、硫黄列島、奄美大島、沖縄諸島、先島諸島、オホーツク海、日本海北部、日本海南部、太平洋北日本沖、太平洋本州中部沖、太平洋南日本沖、伊豆諸島沖、東シナ海



写真提供：友田達也

(性別：不明)

県内分布 ★…2013年以降生息が確認されている市町

★神戸市、★明石市、西宮市、★洲本市、★豊岡市、加古川市、高砂市、★南あわじ市、淡路市

主要な選定理由

影響の人為性					生態の脆弱性 (特殊性)			学術上の 希少性	
個体数 激減	分布域 激減	餌の 可用性 の低下	特殊 競争 圧	特殊 捕食 圧	特殊 繁殖 環境	特殊 採餌 環境	ねぐ 特殊 ら休 環息 境・	局 地的 繁殖	希 少
○	○	○				○	○		○

県内における生息状況およびその他特記事項

要調査ランクからCランクへ変更。

県内では主に11-翌3月に生息する。かつては瀬戸内の海上で数羽から数十羽の群れが越冬し、明石市二見沖では1952年2月に95羽、1953年2月に50羽が記録されている。しかし、1960年代以降急減し、1970年代には全く姿が見られなくなった。最近では紀淡海峡や鳴門海峡周辺、播磨灘で越冬個体群が確認されているが、個体数が少なく存続基盤が脆弱なため、Cランクへ変更した。

保護上の留意点

藻場の再生を含め、生息海域の海洋環境の保全が重要。また、重油や化学物質の流出などによる海洋汚染は、その生存に致命的な結果をもたらすため回避する努力が必要。